

祝 50周年

お陰様で令和3年8月
創立50周年を迎えさ
せて頂きました

かけはし

第182号

令和3年12月17日発行

解脱錬心館

『剛魂健』を指標に一年を振り返る

早いもので一年の稽古納めを迎えようとしています。今年は皆さんにとってどんな一年であったでしょうか。錬心館ではコロナウイルス感染防止対策を徹底し、門下生と保護者の積極的な協力によって一人の感染者も出すこと無く、日々稽古に励むことができました。少年部では、残念ながら限られた行事や大会等しか開催されませんでした。少ないながらも試合が出来ることに感謝しつつ皆が心を一にして大会に臨みました。その結果、埼玉県道場対抗優勝大会・優勝・準優勝、埼玉県道場錬成大会・中学生優勝・小学生第3位と素晴らしい成果を収めることができました。また今年は、コロナ禍の影響で新入門生の激減も心配されましたが体験教室等の地道な努力が実り17名もの入門生を迎えることができました。

一般部では、**教士2名、七段5名、六段8名**が誕生し、一道場でこれだけ多くの方々が高段位に合格することは、まさに快挙です。これも偏に昇段者の長年に亘る謙虚な努力の成果であり、このことはご本人の喜びは勿論のこと、共に稽古を重ねてきました一般部全員の喜びでもあります。おめでとうございます。

このように、本年創立50周年を迎えた錬心館は各分野、各年代層で更に伸長充実が図られ大きく成長を遂げました。来年も引き続き、日本一の道場を目指して「同心協力」尚一層の努力をして行きましょう。

《全クラスの集合写真》

集合写真時のみマスクを外しました



年末年始の行事予定



《12月》

○ 館の行事

◎今年の稽古納めは各クラスの最終日を稽古納めと致します。

初心者・少年部合同 12月24日(金) 17時~18時

木刀教室 12月23日(木) 通常の稽古時間(10時~)

一般部(午前) 12月24日(金) 通常の稽古時間(10時半~)

一般部(午後) 12月25日(土) 通常の稽古時間(16時~)

※強化選手の稽古納めは、強化予定表を確認して下さい

《1月》

※令和4年1月より稽古時の保護者入館(見学)を可能と致します。

但し、必ずマスク着用し検温、消毒して入館下さい。尚、感染状況で再度入館不可になる場合もありますのでご了承ください。



○ 館の行事

9日(日) **新年稽古始め**(対象:全門下生と家族) 午前9時集合

9時30分~新年祈願祭(於 御霊地太神社殿) ※10時30分頃終了

- ・稽古着、袴、胴、垂を着けて集合(少年部・日の丸手持持参)
- ・一般部のみ初稽古を行います(40分程度)
- ・今年は、鏡開き(お汁粉)は中止

10日(月・祝)~14日(金) **寒稽古**(月曜~金曜まで毎日実施します)

・初心者クラス・少年部3年生以下 16時~17時

・少年部4年生以上・強化選手 17時30分~18時30分

・一般部 19時30分~20時30分

※木刀教室は通常通り(火・木)

18日(火)~令和4年 前期通常稽古開始

※稽古活動休み=15日(土)

○ 大会・審査会

12日(水)~14日(金) 埼玉連寒稽古(一般・上尾)

16日(日) 四地区講習会(一般・川口)

23日(日) 北本市剣道連盟・1級審査会(小6以上・錬心館) 13時~

29日(土) 称号推薦認定会(一般・上尾)

○ 受入行事

23日(日) 北本市剣道連盟・1級審査会(北本市剣道連盟)

《2月》

○ 館の行事

※稽古活動休み=11日(金・祝日) 祝日の為・12日(土) 受け入れ行事の為
23日(水・祝日) 祝日の為

○ 大会・審査会

3日(木) 埼玉連月例稽古会(一般・上尾)

6日(日) 全日本都道府県対抗剣道優勝大会予選会(一般・上尾)

13日(日) 段位審査会(初段~三段・上尾)

19日(土) 七段審査会(一般・山梨)

20日(日) 六段審査会(一般・山梨)

昇段審査会

2月25日(金)

創立50周年記念館内大会

3月13日(日)

(詳細は来年ご案内します。変更する場合があります)

☆小学生の部で入賞しました剣道体験実践作文を紹介します！



小学生の部 第2位

勇気と自信をくれる先生

六年 田中 美織

私は、幼稚園の年長の時から剣道を習っています。なぜ習い始めたかということ、私の兄と姉が先にやっていて、とてもかっこよかったからです。でも習い始めてみると、たいへんなことが多くて、出来ない事もたくさんあって、稽古に行きたくないと思う時もありました。私が稽古に行きたくない時は、先生方が話を聞いてくれて、私の辛い気持ちに寄りそってくれます。そうすると、私は不思議と勇気が出てきます。先生に、勇気づけてもらおうと、稽古をとてがんばる事ができます。

稽古では、剣道だけでなく、生活にも役立つことをたくさん教えてもらいます。そのなかに、「礼で始まり、礼で終わる。」というのがあります。これは、生活の中であいさつがとても大切だという事です。私は、とても人見知りで、あいさつも小さい声でしか言えませんでした。剣道を習って、難しい事にもチャレンジしていくうちに、少しずつ自信が持てるようになりました。そして、あいさつも自信を持って大きい声で言えるようになりました。自信が持てるようになったのは先生方のおかげです。先生方は、なかなか上手くできない私に、くり返し教えてくれます。私の目を見て、あきらめないで、教えてくれます。そうすると、また私は先生方の気持ちに応えたいなと思ってがんばることが出来ます。

学校生活でも、私は勇気を出してクラブの委員長に立候補することにしました。でも、私が委員長の仕事がしっかりできるか不安でなかなか手を上げることができませんでした。その時、私は先生に言われた事を思い出しました。「なんでも自信を持って取り組む事」先生が背中を押してくれているような気持ちになり、自信を持って手を上げることができました。

ほかにも、私は稽古を通して生活の中で自信を持ってできることが増えました。先生方が「剣道そく生活、生活そく剣道」ということが、少しだけでできているかなと思うと、うれしい気持ちになります。あいさつをする時は、目をあわせて、心をこめて、相手よりもはやく、できるように心がけています。そして、これからも先生方がくれる勇気と自信を忘れずに、大切にして、剣道を生活にいかしていきたいです。

小学生の部 敢闘賞

心のキャッチボール

六年 吉田 貴汰

「おはよう。」といつも変わらず、大きな声で父が挨拶をしました。ぼくの父は、剣道をやっていてぼくが小さい頃から「挨拶を大切にしろ。」と言っていました。

そんなある日、初めて父の試合を見る機会があり、すごく迫りに圧倒され自然と僕の心の中で剣道をやりたいと強い思いがあらわれてきました。年長になり剣道を始められるようになったぼくは、わくわくしながら初めての稽古にのぞみました。想像していた稽古とはちがって防具を着けて父のようにすぐに試合が出来るかと思っていたのですが、先生に教わった事は、「礼の仕方や挨拶の大切さ」を教えてもらい剣道は、「礼に始まり、礼に終わる、心の修行です。」「挨拶は、心のキャッチボールです。」と教えてもらい、その時いつも父が大きな声で挨拶をしているのがなぜか分かり、ぼくも挨拶を心がけるようにしました。

一年が経ち小学校入学、他の幼稚園から来た子が多くいて友達になれるかとても不安になっているぼくに「剣道でやっているように明るく元気に自分から挨拶をしてみれば。」と母がアドバイスをくれ、母の言葉を信じてクラスの子に剣道と同じように挨拶をしてみたら笑顔で返してくれました。ぼくは、剣道で習った挨拶「心のキャッチボール」を大切にしていたら、今では沢山の友達がいます。

ある日の事、朝、校門の前で校長先生に挨拶をしました。すると「名前なんて言うの。」「何かスポーツでもやっているの。」と言われたので「ぼくは、剣道をやっています。」と答えたら、「だから挨拶がすばらしいんだね。」と言ってくれました。次の日、児童朝会で校長先生のお話でみんなのお手本としてぼくの挨拶の事をほめてくれました。ぼくはとてもうれしかったです。

毎日稽古にはげみぼくは、小学校六年生になりました。ぼくの憧れの先生方、先輩方と一緒に試合が出来る「埼玉県道場対抗優勝大会」の選手に選ばれました。先生方、先輩方は、強い事はもちろん構えの姿勢や防具の着装すべてがかっこよかったです。

結果は、ぼくの道場が優勝、準優勝となり二チームで全国大会に出場できることになりました。

ぼくは、9月の全国大会に向けて一生懸命稽古しましたが残念ながらコロナウイルスが拡大していて全国大会が中止となってしまいました。とても悔しくてたまりませんでした。そんな時、すぐおちこんでいたぼくを先生は、「先生方、先輩方と一緒に試合に出た事は、すごくいい経験が出来てよかったな。」「次は、中学生になって沢山努力してまた一緒に試合に出よう。」と沢山はげましてくれました。家に帰って母に大会が中止になった事を言うと暗い顔をしていたぼくを見て母は笑顔で「また頑張りなさい。」とはげましてくれました。ぼくは、大会が中止となりましたが大切な事も分かりました。剣道の先生方、父や母、祖父や祖母など色々な人達がぼくの事を支えてくれているのだと改めて実感しました。自然と感謝の気持ちを持つことができ、前に進むことができました。

ぼくの夢は、父のようにかっこよく強くなり、礼儀正しくなる事です。そしていつの日か剣道日本一。

そのためにも勉強や感謝の気持ちを忘れずに頑張っていきます。そしてぼくの大好きな言葉でもある、「挨拶とは、心のキャッチボール」を大切にこれからもぼくは、大きな声で「おはようございます。」と明るく元気よく挨拶をしていきます。



☆ 稽古風景スナップ ☆



～ お知らせ ～

☆昇段おめでとうございます-----

七段 福島 博久 (一般) 石井 宏 (一般) 片岡 祥子 (一般)
 坂元 智 (一般) 濟藤 岳人 (OB) 一令和3年11月取得一

六段 佐藤 尚宏 (一般) 山本 澄枝 (一般)
 宮原 良太 (OB) 伊藤 裕太 (外来) 一令和3年11月取得一

◎事務局 神谷恵美子さん 長年ありがとうございました



今日まで23年間錬心館にてお世話になりましたがこの度、11月で解脱会御霊地お勝手に移動する事となりました。錬心館に来るまでは剣道に全く縁がなく初めての事ばかりでした。沢山のことを教えて頂き、様々な経験をさせて頂きました。そして多くの皆様に支えられ今の私があります。思い出は尽きることなく沢山ありすぎて、本来ならばお世話になった皆様に御礼を申し上げたいのですが、この誌面をお借りして、長い間本当にお世話になり有難うございました。

神谷恵美子

◎第64回埼玉県剣道大会



女子個人の部
準優勝 加藤 順子 (専従)
 四段以下男子の部
第3位 鈴木 悠誠 (立教大学3年)
 (11月・県立武道館)

◎第66回埼玉県剣道大会

高校女子個人の部
優勝 柳 菜々海
 (淑徳与野2年)
 (11月・県立武道館)

◎68回神奈川県 高等学校新人剣道大会

男子団体
優勝 桐蔭学園高等学校
 池田 翔 (高校2年)
 (11月・川崎)

◎第44回日本剣道少年団研修会 体験実践発表会埼玉県予選会

中学生の部
第1位 田中 隆斗 (中3)
関東大会出場
第2位 大西 真尋 (中3)
第3位 樋口 佳史 (中3)
 小学生の部
第3位 田中 美織 (小6)
敢闘賞 吉田 貴汰 (小6)

— 編集後記 —

令和3年も後わずか終わろうとしています。コロナ禍の毎日続き、門下生の皆さんにとって辛く厳しい毎日ではありましたがこの一年、今できる事を大切に精一杯頑張りました。来年も今まで以上に努力精進し日本一の道場を目指して頑張ってください！今年も一般部の皆様、後援会保護者の皆様のご理解とご支援、ご協力を頂き深く感謝申し上げます。来年も宜しくお願い致します。(Y)